

(4) 電子納品として使用できるデータ

- ・ファイルとは

利用者から見て最小の記録単位となるデータのまとまりを指します。

- ・ファイル名の決まり

ファイル名は、abcdefg.docなどと表記されます。ドットの前は原則として任意でつけることができます（DRAWINGF フォルダは個別の命名規則があります。）。

ドットの後ろは「拡張子」と呼ばれ、使用するソフトウェアにより決められています。

- ・電子納品で使用されるファイル

成果種別	ファイル名の例
工事打合せ簿等	abc.doc(WORD文書) abc.xlsx(EXCEL文書)
図面	abc.sfc abc.dwg 001C0LC0.p21(CADファイルは個別の命名規則あり)
写真	p0001.jpg p0001.jpeg
その他	Abc.zip(圧縮ファイル) abc.bmp abc.tiff(図画ファイル)

- ・圧縮とは

電子データの実体は、0と1の羅列です。このため、0が10個並んでいれば、ごく大雑把に説明すると、0000000000は0×10と表現できます。前者は10文字必要ですが、後者は、4文字で表現できます。方式は色々ですが、このような処理を行うことを「圧縮」といいます。

- ・電子納品と圧縮ファイル

あいち建設情報共有システムで市販のソフトウェア（アプリ）で作成した電子納品データを一括登録するには、当該データを圧縮してzipファイルを作成していただくことが必要で、作成方法は、以下のとおりです。



ガイドラインを確認しておく必要があります。

以下に「愛知県電子納品運用ガイドライン」から、電子納品のフォルダ構成を示します。

フォルダの最上位（「ルート」といいます。）に「.XML」、「.DTD」などの管理ファイルが配置され、

その下にフォルダが配置されています。これらのファイルは、個々のデータの属性（目次など）を示すファイルです。



・納品情報（電子納品データの管理ファイル）

「.XML」、「.DTD」のファイルの内容を以下に示します。

これらのファイルは、あいち建設情報共有システム又は市販のソフトウェア（アプリ）を使用して作成できますので、ここでは、納品情報はこのような形式で書かれているファイルであるということをご覧いただければ結構です。

このほかに「.XSL」というファイルがありますが、ガイドラインには規定されていないので解説を省略します。

PHOTO.XML
写真データの名称、番号、撮影状況等の情報が記述されています。

PHOTO05.DTD
PHOTO.XMLの情報の項目を定義しています。

・電子納品データのフォルダ構成

下図は、標準的な電子納品の内容です。愛知県では、「愛知県電子納品運用ガイドライン」及び「愛知県デジタル写真管理情報基準(案)」にフォルダ構成を規定しています。

下図では「PHOTO」フォルダが「愛知県デジタル写真管理情報基準(案)」に、その他のフォルダが、「愛知県電子納品運用ガイドライン」に基づいています。

名前	更新日時	種類	サイズ
INDEX_C.XML	2020/10/07 8:39	XML ファイル	4 KB
INDE_C06.XSL	2020/10/07 8:39	XSL スタイルシート	19 KB
INDE_C06.DTD	2020/10/07 8:39	DTD ファイル	6 KB
REGISTER	2022/05/26 11:44	ファイル フォルダー	
PLAN	2022/05/26 11:44	ファイル フォルダー	
PHOTO	2022/05/26 11:42	ファイル フォルダー	
OTHR	2022/05/26 11:42	ファイル フォルダー	
MEET	2022/05/26 11:42	ファイル フォルダー	
ICON	2022/05/26 11:45	ファイル フォルダー	
DRAWINGF	2022/05/26 11:43	ファイル フォルダー	
BORING	2022/05/26 11:44	ファイル フォルダー	

「愛知県電子納品運用ガイドライン」

「愛知県デジタル写真管理情報基準(案)」

・電子納品データのフォルダ構成

電子納品のうち、特に問い合わせの多い「DRAWINGF」フォルダ及び「PHOTO」フォルダについて以下に補足します。

